



わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

北本市立南小学校

みんな なかよく みどりの学校
かしこく 元気な 南っ子

Tel 048-591-4709

Fax 048-591-5802



啐啄同時

校長 安田 一也

新緑が目まぶしい風薫る五月。雲ひとつない青空に向かって、伸び伸びと葉を広げる若葉に南小の子どもたちの活気あふれる姿が重なります。

さて、今月10日から16日までの1週間は野鳥保護思想普及のために鳥類保護連絡協議会が設けた「愛鳥週間」です。そっと耳を澄ますと、スズメのさえずりが聞こえ、ミニ森林や校庭沿いの樹木には、ハトをはじめとする様々な種類の鳥たちが時折、羽を休めにきています。

そこで、今月は愛鳥週間にちなんで「啐啄同時」（そったくどうじ）という言葉を紹介します。卵の中でヒナが殻の内側からつつくことを「啐」、その時に親鳥が殻の外側からつつくことを「啄」と言います。ヒナと親鳥両者の殻をつつくタイミングが合って、卵からヒナが生まれてくることから、「絶好の好機」を表す言葉として知られています。また、巣立ちの時にもこのことが言えると考えられています。親鳥は、ヒナが自分で餌をとり、自立できる能力が備わったと見るや、わざと巣から追い払うようなしぐさを見せます。ヒナはこのことに気付き、自ら巣立ちをします。

しかし「言うは易し、行うは難し」で簡単なようで大変難しく、卵の殻をヒナがつつついているのに親鳥が気づかなかったり、ヒナがつつついていないのに親鳥が殻を破ったり、親鳥が巣立ちを促してもヒナは巣に留まろうとしたりして、「絶好の好機」をなかなか捉えられないのが現状です。

このことは、子育てにも通じると考えます。子どもの興味関心が高まった時にタイミングよく支援しているか、逆に子どもの興味関心が高まっていないのに親が一方向的に押し付けていないかなど、私自身も成人し、社会人になった我が子の子育てを振り返っても赤面することばかりです。大切なのは、我が子の状態をよく把握することだと考えます。学校のある日なら、帰宅後の何気ない会話、入浴や夕食時の様子、読書やゲーム等の余暇の過ごし方等から、休日ならスポーツ活動や自然体験等に夢中になっている姿などの素のままの我が子の様子から、現在どんな事に興味や関心を持っているかを把握しようとするのが「絶好の好機」を捉える第一歩だと考えます。

この春の大型連休は、親子が共に過ごす中で我が子の興味関心がどこに向いているのかを改めて発見できる機会です。共に家事をしたり、身近な自然に触れたりするなど、五感を働かせる体験を通して「我が子理解」を深めるきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。